

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度		科目名	オーディオ & ビジュアル1	
科目基礎情報							
開設学科	音響芸術科		コース名	全専攻		開設期	前期
対象年次	1年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	2単位		授業形態	講義			
教科書/教材	授業内で資料プリントを配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。						
担当教員情報							
担当教員	瀧口			実務経験の有無・職種	有・エンジニア		
学習目的							
現場で使用されている機器は電気で動作している。この電気の基礎を学び機器の基本的な原理を理解する。現場では多くの種類の機器の操作をすることになるが、操作を覚えてただけなのか動作原理まで理解して操作したかにより、対応力、応用力が違ってくる。プロフェッショナルになるための基礎力、応用力を付けるためにはこの科目で基礎を固めることが重要でありステップアップにつながる。前半は電気、電波、音響機器、後半は映像機器を中心に学ぶ。							
到達目標							
電気概論、音響機器、映像機器の基本原理を理解し作品制作への応用力を身に付ける。音楽業界ではレコーディングスタジオ等、映像業界ではMAスタジオ、ビデオ編集室等のポストプロダクションで新人が求められる知識・技術を身につけることにより就職活動、研修等で使える内容を理解し、実践力のある人材を育成する。資格試験においては一般社団法人日本ポストプロダクション協会認定映像音響処理技術者資格認定試験合格を目指す。							
教育方法等							
授業概要	テキストは毎回配布する資料の空欄を授業中に埋めることにより完成する。プロジェクター、音響機器を使用し資料、素材映像等の説明をする。また、配布資料の静止画では分かりづらい物は動画を制作しYouTubeにアップしいつでも確認できるようにしている。授業が一方通行にならないように課題を出し適宜質問等をする。理解度確認のため定期的に小テストを行い解説する。						
注意点	資料は空欄を埋めることにより完成し、卒業後も確認できるようになる。授業中にしっかり書き込み自分用の資料を完成させること。欠席等で資料をもらわなかった時はすぐに資料をもらい、空欄を埋めて資料を完成させること。 公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備考				
	試験・課題	35%	試験と課題を総合的に評価する				
	小テスト	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	レポート	15%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	成果発表 (口頭・実技)	0%					
	平常点	30%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	電気とは			電気とは（電流・電圧・電源・直流・交流）何かがわかる。			
2回	交流			交流の実効値・最大値が分かり、直流との違いがわかる。			
3回	電力			電力の計算、電気代のしくみがわかる。			
4回	周波数・周期			周波数・周期の関係が分かり、計算ができる。			
5回	位相			波形と位相の関係がわかる。			
6回	オームの法則			オームの法則、電圧電流抵抗の計算ができる。			
7回	直列回路			直列回路を理解し、計算ができる。			
8回	並列回路			並列回路を理解し、計算ができる。			
9回	インピーダンス			コンデンサ、コイルの働きを理解しインピーダンスとは何かわかる。			
10回	電波			様々な電波の利用方法がわかる。			
11回	アンテナ			アンテナ・伝搬・電波塔の働きがわかる。			
12回	映像メディアの変遷			映像機器の発展、歴史を知り、テレビの凄さがわかる。			
13回	画素・解像度			画素・解像度を理解し、テレビ画面を表示する原理がわかる。			
14回	スキャン			画面の分解・組み立ての原理がわかる。			
15回	スキャン方式			インターレーススキャン、プログレッシブスキャンの動作、特徴がわかる。			